

# 平成 1 5 年度 9 月補正予算案

## 主要事項説明資料

【府民生活の安心・安全の確保】

共 通

# 主要事項説明資料目次

府民生活の安心・安全の確保

ページ	事業名	担当部局
1	医療施設設備整備費補助金	保健福祉部
2	総合的危機対応体制充実費	総務部
3	シックスクール等対策充実費	保健福祉部
4	起震車整備費	総務部
5	防犯キャラバン車整備費	警察本部

# 平成15年度9月補正予算案主要事項説明

保健福祉部

【府民生活の安心・安全の確保】

事業名	医療施設設備整備費補助金			
予算額	649,100千円	新規・継続の別	継続	
事業内容  目的 対象 方法等	1 趣旨  小児救急医療体制の充実、医療分野における情報化の推進等を図るため、医療機器等の整備に対して支援する。			
	2 事業概要  (単位:千円)			
	事業名	事業概要	実施主体	予算額
	小児救急遠隔医療設備整備事業	病理画像、X線・CT画像を伝送する情報通信システムの整備により、小児救急医療で必要となる迅速で的確な専門医の診断を確保し、小児救急医療体制の充実を図る。	民間4病院	78,881
	電子カルテ・レセプト電算処理システム導入事業	地域の中核的な病院への電子カルテ導入を支援し、医療サービスの質的向上や事務の効率化等を促進する。	公的・民間4病院	544,585
救命救急センター等設備整備事業	血液ガスシステム、超音波診断装置等の医療機器の導入を支援し、各種政策医療を推進する。	公的・公立2病院	25,634	
	計	10病院	649,100	
担当課・係名	医療・国保課 地域医療係	課・係 電話番号	075-414-4744	

# 平成15年度9月補正予算案主要事項説明

総務部

【府民生活の安心・安全の確保】

事業名	総合的危機対応体制充実費		
予算額	1,000 千円	新規・継続の別	新規
事業内容  目的 対象 方法等	<p><b>1 趣 旨</b></p> <p>地震や水害はもとより、国際的な観光地である京都府では、テロや 病原菌等のリスクをも十分踏まえた上で、また、国民保護法制の成立も視野に入れ、府民の避難マニュアル等の策定の準備をする意味からも、あらゆるリスクから府民の安心・安全を守るため、リスクの種類ごとに緊急対策の決定手順等を再検討するとともに、消防・警察・自衛隊が機動的に連携した総合的な危機対応体制の充実強化についての検討を行う。</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <p>危機管理マニュアル（案）策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部局別リスクの洗い出し</li> <li>・「リスク発見・連絡ルート・応急対応」の体制検討</li> <li>・消防・警察・自衛隊・医療機関等との連携</li> <li>・危機管理組織の検討（危機管理担当）</li> </ul> <p>国民保護法制に係る国民保護計画の検討・準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関の連携・協力体制構築の課題等検討</li> <li>・市町村への周知（危機管理に関する勉強会の開催）</li> </ul> <p>総合的危機対応体制の構築に向けた組織の検討・設置</p> <p>&lt; 構成 &gt;</p> <p>府、京都市、消防、警察、自衛隊、海上保安庁、医療機関など</p>		
担当課・係名	総務調整課 企画調整担当	課・係 電話番号	075-414-4033

# 平成15年度9月補正予算案主要事項説明

保健福祉部

【府民生活の安心・安全の確保】

事業名	シックスクール等対策充実費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	継続
<p>事業内容</p> <p>目的 対策 方法等</p>	<p>1 趣旨</p> <p>家庭や教育現場等で生じる「シックハウス症候群」について、検査機器の増設による検査内容の向上等、保健所等における検査機能の充実を図る。</p> <p>2 整備内容</p> <p>現行の検査機器に加え、より精密な機器「検知管自動ガス採取装置」を保健所等に整備する。</p> <p>(現行の検査機器：各保健所に簡易測定器1台設置)</p>		
担当課・係名	薬務課 指導係	課・係 電話番号	075-414-4786

# 平成15年度9月補正予算案主要事項説明

総務部

## 【府民生活の安心・安全の確保】

事業名	起震車整備費						
予算額	24,780千円	新規・継続の別	新規				
<p>事業内容</p> <p>目的 対象 方法等</p>	<p>地震時における初期動作等について、府民に修得いただくため、起震車（地震体験車）を配備している。</p> <p>府立消防学校に配備している起震車は、配備後20年以上経過し、老朽化が激しいため、更新を行う。</p> <p>&lt;起震車の仕様&gt;</p> <table border="1" data-bbox="437 902 1377 1288"> <tr> <td data-bbox="437 902 496 1070">仕様</td> <td data-bbox="496 902 1377 1070">3t級高床式トラックに耐震ハウスを搭載し、同ハウスに水平及び上下の振動を与えることができる車両。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 1070 496 1288">体験震度</td> <td data-bbox="496 1070 1377 1288">震度4～7の揺れを疑似体験できる。</td> </tr> </table>			仕様	3t級高床式トラックに耐震ハウスを搭載し、同ハウスに水平及び上下の振動を与えることができる車両。	体験震度	震度4～7の揺れを疑似体験できる。
仕様	3t級高床式トラックに耐震ハウスを搭載し、同ハウスに水平及び上下の振動を与えることができる車両。						
体験震度	震度4～7の揺れを疑似体験できる。						
担当課・係名	消防防災課 防災室	課・係 電話番号	075-414-4475				

# 平成15年度9月補正予算案主要事項説明

警察本部

## 【府民生活の安心・安全の確保】

事業名	防犯キャラバン車整備費		
予算額	44,100千円	新規・継続の別	新規
事業内容  目的 対象 方法等	<p>1 趣旨 年々増加傾向にある犯罪の発生を抑止し、最新の各種情報をわかりやすく提供し、防犯意識の向上や自主的な防犯対策の必要性を理解してもらうため、防犯広報用資機材を搭載した防犯キャラバン車を整備するものである。</p> <p>2 事業概要 防犯キャラバン車の整備により、府民の居住地域に出向き、幅広い年齢層を対象とした参加・体験型の防犯指導を実施する。</p> <p>3 整備内容 防犯キャラバン車本体 防犯広報パック（多人数で防犯に関するクイズや110番の体験をしてもらうシステム） 防犯広報用資機材（センサパネルセット、防犯グッズセット、鍵見本セット等）</p> <p>4 事業効果 府民の居住地域に出向き、参加・体験型の防犯指導を行うことにより、幅広い年齢層をカバーし「身の回りの安全を守る」意識の高揚が高められる。 公園等の身近な場所での活動が容易となり、より多くの府民に対して直接的な防犯指導ができる。</p>		
担当課・係名	生活安全企画課・生活安全推進係	電話番号（内線）	075-451-9111(3041)